

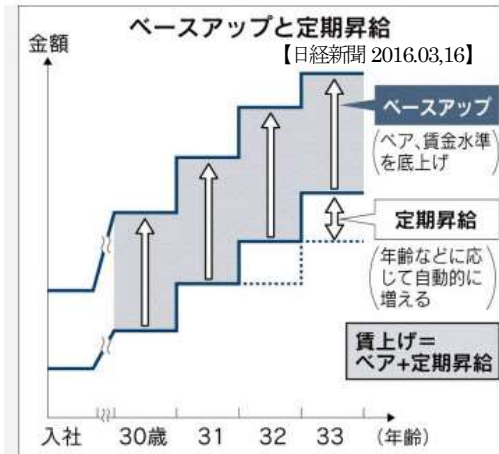
2023 年度は回復・復活の一年に あらゆる手段で生涯年収の回復を

WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 523 (14-06)
2023年 02月 13日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

23 春闘の交渉はこれからですが、賃上げのニュースが相次いでいます。赤坂社長も「物価水準を超えるくらいの賃上げをしていく」と述べています。コロナで厳しかった過去3年も定期昇給だけはありました。個人単位で見ると賃上げされていたことになりませんが、会社として支払う賃金は増えていないと言えます。上の世代がシニアになって減額され、新入社員が最低限しか入らなければ支給総額は減少。一時金を考慮しない場合、ベアが無ければ人件費総額は変わりません。



定期昇給が少ない世代は 物価高が家計に直撃

JAL では 2019 年に 1000 円のベアを実施してから 3 年連続で見送りとなっています。航空では業績が悪くなると簡単にベアゼロにされてしまうため他業種との差が開いてしまいます。JAL では 2010 年の経営破綻で賃金見直しもありました。また、90 年代の規制緩和と人件費削減施策で持株会社化と事業の分割・子会社化が進み、同じグループでも職種の差が拡大しました。

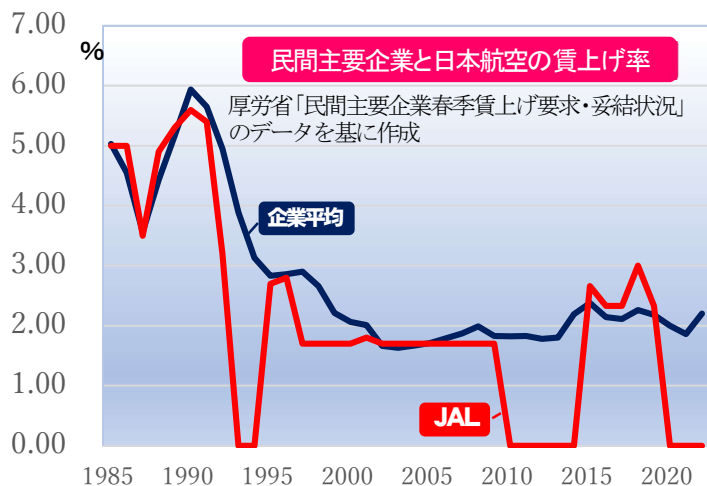
整備現業も JALI の整備技術職と JALEC 社員に分かれたため、賃金表の具体的な額の記載は控えますが、JLU 組合員平均 50 代半ばの年齢では、一般職の上限に近づいています。評価 B だと定昇は 0.5~1.0%ほどになります。

JAL 業務企画職 G1、整備技術職 S1 の昇給表 基本給額は【賃金規定別表】に記載

昇給前基本給額	評価S	評価A	評価B	評価C	評価D	上限到達以降	
一般職 LEVEL MAX	3.5%	2.0%	0.5%	0.2%	0.0%	S	5,000 円
一般職 LEVEL 12	4.0%	2.5%	1.0%	0.5%	0.0%	A	3,000 円
一般職 LEVEL 11	4.5%	3.0%	1.5%	1.0%	0.5%	B	2,000 円
一般職 LEVEL 10	5.0%	3.5%	2.0%	1.5%	1.0%		
一般職 LEVEL 9	5.5%	4.0%	2.5%	2.0%	1.5%		

ベースアップしないから貧しい国になった？

日本経済が右肩上がりだった時は毎年ベアを含めた賃上げがあり、賃金が上がって物やサービスの値段も上がってきました。90 年代後半からは、各企業が



JAL の 2015~19 は 18 年の「ベア 3000 円と定昇平均で賃上げ 3%」という会社発言を参考にした組合試算。

コスト削減にベクトルを向け、ベアを廃止・縮小し始めました。その結果、日本の賃金は先進国平均を下回り、物価も東南アジアの国より低くなっています。好業績の時は一時金で還元してきましたが、本当はベアが重要だったということです。

1 月の消費者物価指数は対前年比で 4%を超え、今年もいろいろ値上げが続くと言われています。私たちは 3 年間ベアゼロでも会社に貢献してきたことと、昨今の物価上昇を踏まえて定昇後 4.5%のベースアップを求めます。人財確保が厳しくなっている子会社については大幅賃上げで JALI に近づけるか、本体に統合し、エアラインとしての採用で優秀な人財を取り込むべきでしょう。

23 春闘要求

- 急速な物価上昇を考慮し、JAL グループ全社員の賃金を永く安心して働ける水準に引き上げること。
- 業務企画職・整備技術職の基本給を一律 4.5%引き上げること。



第3 四半期決算発表 前年を大幅に上回る結果に

2月2日第3 四半期決算が発表されました。10月以降、国際、国内ともに旅客需要が急速に回復し、前年を大幅に上回る結果となりました。EBIT（ANAは営業利益）で差があるものの、コロナが落ち着き、昨年以上のお客様に利用していただいたことに間違いありません。3年ぶりの通期黒字も見えてきました。

JAL/ANAグループ第3 四半期決算

(単位: 億円)

科目	JALグループ		ANAグループ	
	金額	前年同期差	金額	前年同期差
売上高	10,055	+5,071	12,586	+5,206
EBIT/営業損益	+347	+2,180	+989	+2,147
四半期純損益	+163	+1,446	+628	+1,654

見通し下方修正も 社員の頑張りで費用削減目標は達成

決算発表時にANAが見通しを上方修正し、JALは下方修正しました。売上げ見通しの作り方に違いがあっただけで、燃油費を除いた費用面では想定していた数字より低く抑えています。

2022年度は下期以降に需要回復して第3 四半期でようやく黒字が見えてきたところですが、来年度は回復したところからスタートできます。いままで出来なかったことが出来るようになる勝負の一年。今こそしっかり人的投資を行って、働く社員がワクワクする会社にしてほしいものです。

賃上げ 一時金

手当改善

みんながワクワクする回答を

灯油なまら高くて 生活ゆるくないって

※灯油代が非常に値上がりしていて、生活するのが大変です



新千歳空港で働く組合員から家庭で使う灯油代の明細が送られてきました。

単価(円):量(L) 金額(円)	2021-2022		2022-2023	
10月			¥108.8	82.6
			¥9,886	
11月	¥89.8	168.1	¥108.8	188.0
	¥16,605		¥22,499	
12月	¥101.6	222.7	¥104.8	247.7
	¥24,889		¥28,419	
1月	¥101.6	305.5	¥104.3	281.0
	¥34,143		¥32,239	
	¥97.1	276.4		
	¥29,552			
2月	¥101.6	301.2	¥101.6	299.5
	¥33,662		¥33,472	
3月	¥101.6	201.4		
	¥23,506			
4月	¥108.8	170.2		
	¥20,370			

家族3人で生活すると普通にこれくらいかかります。足りなくなったら月に2回入れることも。

2015年は60円/ℓくらいでした。灯油が値上がりすると、塾・習い事、公共施設の暖房費も上がります。

夏のエアコンでこんなにかかりますか？北国で働く人のことを考えて
暖房手当
を支給して下さい

**団交速報は
オンラインで**
時間は毎回 17:00~19:00

23 春闘がスタートすると立て続けに団交開催。オンラインで JLU ニュースより早く内容を伝えます。

2/20(月)

21(火)

22(水)

団交は 15(水)、21(火)
回答指定日は 3/1(水)

※Zoom 詳細はお問い合わせください。ホームページにも公開します。

【WING 523(14-06)号 2023, 02, 13】